

# 令和2年産米 生育概況

## 株式会社ヤマタネ 食品本部

株式会社ヤマタネでは、東京都学校給食会(以下、給食会)と取り決めた産地より原料玄米を仕入れ、精米し皆様の学校へ商品をお届けしております。

今年はコロナの影響で産地訪問が叶わなかったため、弊社より、今年の生育状況や生産者のご苦労などをお伝えします。

### 今年のお米(稲)の生育と 生産者の方々の苦労

給食会が取り扱う「つがるロマン」の産地青森県、「あきたこまち」「萌えみのり」の産地秋田県はいずれも全国有数の穀倉地帯で、令和2年度の収穫量は、例年と比較しても増加が見込まれ、生産者の方々が胸を張る素晴らしい品質の米を収穫することができました。

近年は大型台風や猛暑、長雨など「異常気象」ともいわれる気候が続いており、生産者の方々はお米を作る上でとても苦労されています。

今年は7月の長雨による日照不足と低温、8~9月にかけての高温に悩まされる年でした。7月の長雨や低温は稲の生育に悪影響(うまく稲が育たない、稲が変色したり枯れたりする病気になる等)を及ぼします。また、8月~9月はお米の登熟期(籾の中にお米ができて穂が垂れてくる時期)にあたり、この時期の高温はそのまま放っておくとお米が白濁し割れてしまう原因となります。

生産者の方々は、日々田んぼに足を運び気候と稲の状況を常に観察しながら、水量や水温を適宜調節して稲がしっかり育つよう努力されております。美味しいお米を皆様にお届けするという強い思いをもって、難しい環境の中、今年も立派に育てていただきました。

### コロナの影響

コロナは、農業の現場でも多くの影響を及ぼしました。一番は密を避けなければならない為、人数が集まる行事を行えないことでした。毎年生産者の方々は、その年どのような栽培方法を行えば良いお米が出来るかを話し合う勉強会等を開催しております。



しかし、今年は開催することができなかった為、お米を生産者の方々から集荷し販売する農協や集荷団体の営農指導者たちが、こまめに生産者の方々に情報提供や栽培指導を行い、生産者の方々を孤立させず全体での品質向上に努めました。

### 安全・安心への取組み

給食会が取り扱うお米は、「おいしい」と同じくらい「安全」にもこだわっています。「秋田県産あきたこまち」と「青森県産つがるロマン」は農薬節減米を使用しております。給食会の農薬節減米は、県が示している慣行栽培(通常行われる栽培方法)と比較して農薬の使用成分回数を半分以下に抑えたお米です。農薬を節減することで、より安全・安心なお米となっております。

また、「秋田県産萌えみのり」につきましては、弊社が種子の調達・管理から生産、製品までの一括管理を行っております。種子に混在している異物の除去やDNA検査を経て産地に提供され、弊社と生産者が一体になって「萌えみのり」を生産しております。さらに、生産されたお米については、全量を買収することで、産地と堅固なパートナーシップを築き、安全・安心なお米をお届けできるよう努めております。



つがるロマン  
生産者



あきたこまち  
生産者

### おわりに(給食会より)

産地ではDNA検査、残留農薬検査、重金属(カドミウム)検査を、本会では新米供給前に放射性物質検査を実施しております。また、学校に納品されたお米を採取しDNA検査、残留農薬検査、重金属(カドミウム)検査、細菌検査を実施しております。どうぞ安心してご利用ください。

また、本会ホームページでは、(株)ヤマタネにご協力いただき、令和2年度のお米ができるまでの様子を写真も交えながら紹介しておりますので是非ご覧ください。



HP QRコード